

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	盛岡市における賑わい拠点づくり														
計画の期間	平成31年度 ～ 平成31年度（1年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	盛岡市														
計画の目標	木伏緑地は、昔から都市が形成されている市街地のなかにあり、盛岡駅から200m～300m離れた北上川沿いにある。 近年、北上川等を中心とした新たな賑わい創出の一つとして、国、市及び市民が連携して舟運（盛岡地区かわまちづくり）の事業化に向けて取り組んでおり、その船着場としての機能が期待されている都市緑地である。 官民が連携して特定公園施設とカフェ等民間収益施設を整備し、新たな賑わい拠点空間を創出することで、同緑地のイベント開催を増やし、相乗効果により利用者の増加が見込まれる。 また、分断されている3つのエリア（駅前商店街、大通商店街及び材木町商店街）を結ぶハブとなることで新たなエリア価値の向上が見込まれる。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）			28	A	28	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H31当初)		(H32末)
1	木伏緑地におけるイベント開催数を4回／年（H29）から6回／年（H32）に増加			
	年間におけるイベント開催数を算出。公園管理者への使用許可を得て、市民等を対象としたイベントとする。	4回／年	回／年	6回／年
2	木伏緑地の公園利用者数を 547人／日（H30）から 700人／日（H32）に増加			
	公園利用者を算出(平日と休日の平均)。	547人／日	人／日	700人／日

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	盛岡市	直接	盛岡市	－	－	官民連携賑わい拠点創出 事業（木伏緑地）	特定公園施設：便所（一式）	盛岡市	■					28		－
											小計						28		
											合計						28		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業策定主体（公園みどり課）にて評価を実施	令和２年度
	公表の方法
	盛岡市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	官民連携により特定公園施設（トイレ）と公募対象公園施設であるカフェ等民間収益施設や芝生広場を整備し、新たな賑わい拠点空間を創出したことで、公園利用者が増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	当該公園が分断されていた既存商店街を結ぶハブとなることで新たなエリア価値の向上が見込まれる。
○特記事項（今後の方針等）	
地元団体が主体となり国・市との協働により舟運の本格運航に向けて取り組んでいるおり、令和２年度には隣接した河岸に船着き場が整備された。今後は、舟運事業との連携によりエリアの賑わい創出と価値向上を図る。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	年間のイベント開催数（回/年）		
	最 終 目標値	6回／年	新型コロナウイルスの感染拡大防止により、1回のみのイベント開催となったもの。
	最 終 実績値	1回／年	
2	公園の利用者数（人/日）		
	最 終 目標値	700人／日	
	最 終 実績値	1068人／日	